

7月30日から国際セミナー G・N(グローバルネット)が京都で総会開催へ

セミナー1

「ミサイル防衛」の真相 「宇宙でも戦争する国」日本へ?

7月30日(木) 午後1時~5時
同志社大学志高館112教室

- *ウクライナ・IS・炭化水素覇権をめぐる復活ネオコンの戦略と矛盾
- *米軍事戦略のなかの経ヶ岬MD基地の位置と役割
- *宇宙戦争を想定した日本の「第3次宇宙基本計画」の問題点
- *MDをめぐる論争—韓国の場合

経ヶ岬ツアー(現地日程のみ記載、バスは満席)

7月31日(金)

12:00 間人の丹後地域公民館(昼食<持参>と事前学習と地元との交流)

13:00 基地視察

15:30 帰途に

セミナー2(3つの分科会)

宇宙規模で構築中の米国戦争システムの全貌を探る

8月1日(土) 午前9時30分~12時50分

立命館大学(衣笠) 敬学館225・226・227教室

- *米・英・伊・印・北欧・韓国・沖縄・九州・東京・京都からの報告を素材として

セミナー3

8月1日(土) 午後2時~5時30分

立命館大学(衣笠) 敬学館210

- *チェコにおけるMD基地阻止の経験と東欧での戦い
- *MDと宇宙核戦争、原発炎上—米国戦略の帰結
- *中国、インド、パキスタン、ネパールの動き
- *軍事化が進む日本の宇宙政策のもとで、何をすべきか

※各セミナーの資料・通訳費は1000円。市民開放のセミナーです。報告者などの詳細は (<http://space-peace-kyoto.blogspot.jp/>)

昨年京都府民の会元事務局長の戸田さんと立命館大学の藤岡教授が、アメリカで開催されたG・Nの総会に参加し、経ヶ岬の米軍基地について報告しました。これをきっかけに決まった京都でのG・Nの国際セミナーが近く開催されます。参加自由です。ぜひご参加ください。

G・Nは、1992年にアメリカで設立され、兵器と核エネルギーの宇宙配備に反対する市民組織です。今回はじめて京都で開催されます。米国、英国、ドイツ、チェコ、スウェーデン、ノルウェイ、イタリア、アイルランド、カナダ、インド、ネパール、韓国などから35名の専門家や市民が京都に集まります。

京都ではミサイル防衛のための米軍基地設置が大きな問題となってきました。また、安倍内閣の戦争法は、その位置付けを質的に変えてしまう重大な内容をもっています。

7月31日には、現地の基地視察と交流会が行われます。

※いずれも参加自由です。(1セミナー、資料・通訳費1000円です)

戦争法で米軍基地はどうなる 府民の会学習集会を開催(2面に記事)



7月5日京都教育文化センター

発行：米軍専用レーダー基地の設置の撤回を求める京都府民の会(略称：米軍基地いらない京都府民の会) 連絡先：京都市中京区壬生仙念町30-2ラポール京都5階 京都総評内 京都共同センター気付 電話075-801-2308 fax075-812-4149 URL:<http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html>

お知らせ：府民の会で戦争立法と経ヶ岬米軍基地についてのチラシをつくりました。ご活用ください。



府民の会は、7月5日、京都教育文化センターで「学習集会とめよう!戦争法 京丹後経ヶ岬・米軍基地は撤去を」を開催。120名が参加しました。学習会は、戦争法案が重大な政治的焦点となる中、経ヶ岬米軍基地がどのような役割を果たしていくのかを明らかにしようと開催しました。

森下総子共同代表が「安倍政権は暴走のきわみ。経ヶ岬の米軍基地は戦争法で非常に危険なものとなる」と主催者を代表してあいさつ。

経ヶ岬米軍基地の現地の状況を、米軍基地建設を憂う宇川有志の会事務局長の永井友昭さんが、戦争法・日米ガイドラインと経ヶ岬米軍基地について府民の会事務局長の片岡明さんが、国会での論戦をはじめ戦争法について日本共産党の井上さとし参議院議員が、それぞれ報告をしました。

約束違反だらけの経ヶ岬米軍基地 (永井) 京都北部がミサイル防衛の拠点に (片岡) 戦争法に反対する巨大な変化が (井上)

住民の意向調査が行われたが良くないとの意見が圧倒的と言われているが公表されない。市長が圧力をかけて住民にも明らかにされない。ケネディ大使が来たが、地元にもさまざまな声があるのでガス抜きでは。しかし、市長は何も言わなかった。



永井友昭さん

基地設置が明らかに
なつて2年
4ヶ月がた
ちました。
大きなアン
テナを入れ
る「ビッグ
ボール」が
5月末に設

置され基地としての設備はほぼできたのではないかと思います。夜は不夜城で、金網が何重にも。発電機が常に2台動き、レーダーサイトからも音が激しい。警告板は国会でも問題になり問題の箇所だけテープで隠された。日本国憲法で罰せられるとの表示もあった。(笑い)明らかに間違い。民間の警備員が武器(M16)と短銃を持って警備。Yナンバー車も増加。通勤のバスには乗らない。約束違反だ。市は文句を言わないのでやりたい放題。高速道路は無料パスで国が払う。網野町島津に68人分の軍属の住居ができる。



片岡明さん

ワイ、グアムを守り、その次がイギリスで、日本は後の方。相当なお金をかけているがミサイルが飛んでこないようにする外交が大

この基地は重視されている。視察にハワイの本部やオーストラリアからも来ている。小銃と短銃携行と言われたが、沖繩にもこれほど重要な警備をしているところはない。衛星やイージス艦なども組み合わせ効率的にミサイルを探知する。ミサイル防衛は防衛ではなく攻撃的性格を持つ。舞鶴に2隻あるイージス艦に積む射程距離の長い(300キロほどの)ミサイルの共同開発を進められている。舞鶴にミサイル整備所も作られた。今でも米軍横田基地に自衛隊が同居しつながつているが、集団的自衛権容認の日米ガイドラインを決めた。戦争法で戦闘現場になり北部一帯がミサイル防衛の拠点となり京都に戦争を持ち込んでくる。車力で西側、経ヶ岬で北側をカバーし90度でどちらからもミサイルを探知できる。韓国ともつながる。指揮するのはハワイ。アメリカの領土・領域、ハ



井上さとしさん

経ヶ岬基地
に
関
し
て
い
く
つ
か
。不
当
な
看
板
の
撤
去
を
求
め
て
た
翌
日
テ
ー
プ
が
貼
ら
れ
た
。他
に
も
あ
る
と
追
及
し
た
。日
米
地
位
協
定
で
米
軍
の

移動は保障され、高速道路の通行料はとらず、国民が肩代わりする。公務が前提だが、私的利用がなぜ公務なのかと追求してきた。ツアーは日本の文化にふれるからと政府は言っているが、会計検査でも問題になった。現在8億から9億ほど肩代わりしている。戦争法は、今せめぎあい。巨大な変化が起きている。公明支持の中でも反対が上回った。憲法違反と考える人は8割に上り、根幹のところでは反対が増えている。国会周辺では、当初の倍の人々が集まり、学生の数も増加し、著名な人々も次々と立ち上がっている。国会を延長しても憲法違反の本質は変わらない。安倍首相は米国議会で「われわれはアメリカとともに冷戦に勝利した」と言った。歴代総理でこんなことを言ったのははじめて。アメリカの軍事同盟にしがみつくことを表明した。日米新ガイドラインでは、以前は日本に攻撃および周辺事態が対象だったのが、地球的規模とした。さらに、以前は日本の全ての行為は日本の憲法上の制約の範囲内となっていたが、憲法の制約という言葉はなくなった。これらを具体化したのが今回の戦争法案だ。ごいっしょに戦争法案を廃案にするためにがんばりましょう。